

戦略的イノベーション創造プログラム第3期(SIP第3期)
「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」推進委員会の設置について

令和5年4月 20 日
内閣府科学技術・イノベーション推進事務局

1 趣旨

「科学技術イノベーション創造推進費に関する基本方針」(平成 26 年 5 月 23 日、総合科学技術・イノベーション会議決定、令和4年 12 月 23 日最終改正)及び「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」(平成 26 年 5 月 23 日ガバニングボード決定、令和4年 12 月 23 日最終改正)に基づき、SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)第3期の課題である「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」の推進にあたり、「社会実装に向けた戦略及び研開発計画」(以下「戦略及び計画」という。)の作成や実施等に必要な調整等を行うため、「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」推進委員会(以下、「推進委員会」という。)を設置する。

2 検討事項

推進委員会は、当該課題の「社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」の策定及び改定や実施等に必要な調整等を行う。

具体的には以下について検討を行う。

- ① 社会実装に向けた戦略に関すること。
 - ・技術だけでなく、事業、制度、社会受容性、人材の5つの視点での戦略
 - ・実用化・事業化戦略および SIP 終了後のエグジット戦略
 - ・民間企業の参画・活動を促すインセンティブ、マッチングファンド条件
- ② 実施内容、目標に関すること。
 - ・知財戦略・標準化戦略
 - ・社会実装に向けた戦略に対する各研究開発テーマの内容、目標の整合性
- ③ 体制に関すること。
 - ・府省連携・産官学連携
 - ・課題内テーマ間連携
 - ・課題間連携
 - ・データ連携
- ④ マネジメント、成果の管理・活用に関すること。
 - ・5つの視点での Readiness Level(XRL)での進捗管理
 - ・課題内のデータマネジメントプランに基づくデータ管理
 - ・成果の对外発信
- ⑤ BRIDGEの関連分野の各省庁施策に対する提案、助言及び支援に関すること。
- ⑥ その他、「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」の推進に際し必要な事項。

3 構成および運営

- (1) 推進委員会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 推進委員会の委員長は、プログラムディレクターが務める。
- (3) 推進委員会は、委員長が召集する。
- (4) 委員長は、必要があると認めるときは、推進委員会の構成員の参加対象を限定し、また、推進委員会の構成員以外の者をオブザーバとして推進委員会に出席させることができる。
- (5) 推進委員会における調整が不調の場合、最終的な判断は委員長が事務局と相談のうえ行う。
- (6) 上記のほか、推進委員会の運営に必要な事項は、委員長が内閣府と相談のうえ定める。

4 設置期間

令和5年4月20日から事業終了時まで。

5 事務局

推進委員会の事務局は、内閣府科学技術・イノベーション事務局課題担当グループが務める。

以上

戦略的イノベーション創造プログラム第3期(SIP第3期)
「先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進」推進委員会 構成員一覧

構成員

<プログラムディレクター(委員長)>

寒川 哲臣 日本電信電話株式会社 先端技術総合研究所
常務理事 基礎・先端研究プリンシパル

<サブプログラムディレクター>

ガバニングボードにて選定

<内閣府課題担当>

内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官【量子・マテリアル G】

<関係省庁>

内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター基本戦略第一グループ 内閣参事官

総務省 国際戦略局 技術政策課研究推進室長

文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 量子研究推進室長

経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 研究開発調整官

オブザーバ

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 理事

PD 補佐

以上